

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
調査結果報告書

令和5年3月
大分県 日出町

目 次

I	調査概要	
1	調査目的	1
2	調査内容	1
	(1) 調査設計	1
	(2) 回収状況	1
	(3) 報告書の見方	2
	(4) 調査結果の有意性について	2
II	調査結果概要	
1	回答者の属性	3
2	リスクの発生状況	5
1.	からだを動かす	5
	(1) 運動器の機能低下	5
	(2) 転倒リスク	8
	(3) 閉じこもり傾向	11
	(4) 各リスクと他設問との関係	14
2.	食べる	17
	(1) 低栄養の傾向	17
	(2) 口腔機能の低下	20
3.	毎日の生活	24
	(1) 認知機能の低下	24
	(2) IADL（手段的日常生活動作）	27
4.	健康と幸せ	30
	(1) うつ傾向	30
	(2) 主観的健康感	33
	(3) 主観的幸福感	34
5.	社会資源等の把握	35
	(1) 会・グループ等への参加状況	35
	(2) 健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意向	36
III	資料編（調査結果）	
問1	あなたのご家族や生活状況について	37
問2	からだを動かすことについて	45
問3	食べることについて	65
問4	毎日の生活について	85
問5	地域での活動について	103
問6	たすけあいについて	123
問7	健康について	135
問8	認知症に関する相談窓口の把握について	156
問9	介護保険について	162

I 調査概要

1 調査目的

「高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」の策定に向け、地域の高齢者の状況を把握し、高齢者の生活実態にあった介護サービスや、社会参加を促進する施策等を検討するための基礎資料を得ることを目的として実施しました。

2 調査内容

(1) 調査設計

- ① 調査対象：令和4年12月15日現在、65歳以上の人のうち、
要介護認定を受けていない人
- ② 調査方法：郵送配付、郵送回収
- ③ 調査期間：令和5年1月13日（発送）～2月10日（回答締切）
- ④ 抽出方法：調査対象から3,000人を無作為抽出
- ⑤ 地域等：次の通り小学校区の5地域に分割（各地域から同数の調査対象を抽出）
豊岡・南端地区、日出地区、藤原地区、川崎地区、大神地区

(2) 回収状況

		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	合計
男性	回収数	204	274	196	143	107	924
	回収率	58.8%	67.7%	70.5%	78.1%	77.0%	68.3%
	配布数	347	405	278	183	139	1,352
女性	回収数	233	311	265	185	146	1,140
	回収率	65.4%	65.2%	76.8%	74.3%	66.1%	69.2%
	配布数	356	477	345	249	221	1,648
全体	回収数	437	585	461	328	253	2,064
	回収率	62.2%	66.3%	74.0%	75.9%	70.3%	68.8%
	配布数	703	882	623	432	360	3,000

	豊岡・南端地区	日出地区	藤原地区	川崎地区	大神地区
回収数	409	425	414	400	416
回収率	68.2%	70.8%	69.0%	66.7%	69.3%
配布数	600	600	600	600	600

	一般高齢者	総合事業対象者	要支援1	要支援2
回収数	1,981	14	35	34
回収率	68.9%	73.7%	60.3%	72.3%
配布数	2,876	19	58	47

(3) 報告書の見方

- 四捨五入による有効数字の関係上、単数回答であっても合計値が 100%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、有効回答者数に対して、それぞれの割合を示しています。
- グラフの値については、レイアウトの関係上省略することがあります。
- 介護区分別における「総合事業対象者」はサンプル数が少ないため、グラフの掲載は行いますが、文章中の比較対象からは除いています。

(4) 調査結果の有意性について

一般に、標本の大きさが大きいほど信頼性の高い（標本誤差が小さい）調査結果を得る事ができます。標本の大きさと信頼性（標本誤差）との関係は、概ね以下のような関係になります。標本の大きさが 400 の場合、誤差が±5%の範囲内になり、一定の信頼できる結果が得られると考えられます。（引用：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き P63）

標本の大きさと標本誤差（%ポイント）の関係

標本の大きさ	10%程度の回答者が選ぶ設問	30%程度の回答者が選ぶ設問	50%程度の回答者が選ぶ設問
100	5.9%	9.0%	9.8%
200	4.2%	6.4%	6.9%
300	3.4%	5.2%	5.7%
400	2.9%	4.5%	4.9%
500	2.6%	4.0%	4.4%
600	2.4%	3.7%	4.0%

- ② 調査結果には統計上の誤差が生じ、その標本誤差（信頼度を 95%とした場合）は、下記の式により求めることができます。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{P(1-P)}{n}} \quad (N=\text{母集団の数}, n=\text{サンプル数}, P=\text{回答比率})$$

今回の調査は、母集団（令和4年12月末日現在：65歳以上人口^{*1}=8,637人）、サンプル数（2,064人）、から標本誤差を計算すると、下記の標本誤差以内となります。

今回調査標本誤差	±1.9%
----------	-------

^{*1} 65歳以上人口（出典：日出町HP 住民基本台帳人口 地区別人口、世帯数 令和4年度）